

# YDS-3C

1966年 / 市販車

アメリカのオフロードバイク人気に注目し、高性能スポーツモデル YDS-3をベースに開発された海外市場向けの「スクランブラーモデル」。ヤマハ発動機独自の分離給油システム「オートループ機構」を備えた2ストローク・並列2気筒エンジンは、優れたパワーと高い信頼性、耐久性はオフロードでも威力を発揮した。オフロード走行に耐えうる機能美を追求した車体はセミアップアップマフラー、未舗装路でのグリップ力を高めるブロックパターンのオフロードタイヤを装着し、地上高を高めたシンプルかつタフなデザインはワイルドな雰囲気醸し出していた。

後に大ヒットする本格オフロードモデル「DT-1」へと繋がる、ヤマハ発動機のオフロードバイク開発の重要な一歩となった。

